



社会医療法人同仁会

耳原総合病院  
MIMIHARA GENERAL HOSPITAL

# 地域連携室だより



第 62 号  
2020. 10



平素は多数のご紹介をいただきありがとうございます。

## 9 月 紹介数

内科	50	整形外科	35	腎・透析センター	2	歯科口腔外科	42
内科 ER	209	放射線科	141	内視鏡	53	消化器内科	28
外科	48	脳神経外科	6	呼吸器外科	0	眼科	1
泌尿器科	46	小児科	17	胸部心臓血管外科	6	健診科	0
産婦人科	98	緩和ケア外科	51	循環器内科	52		
皮膚科	3	精神科	0	リハビリ科	8	合計	896

## 病院長就任あいさつ

日頃から当院の医療活動へのご理解、ご支援、誠にありがとうございます。本年 10 月から病院長に就任しました河原林正敏です。私は 1994 年に香川医科大学を卒業したのち当院で研修を開始し、1999 年には当院での整形外科開設に携わり、その後はずっと整形外科医として勤務してきました。2014 年に医療安全担当副病院長を命じられたのを機に病院の管理運営に関わる立場となり、現在に至っております。以後、お見知り置きください。

さて、今年前半はとにかく新型コロナウイルス感染症対応に翻弄される毎日でした。堺市や大阪府からの新型コロナ診療受け入れ要請を受けて、当院では堺市医師会、市内医療機関、保健所と連携して「地域医療支援病院としての役割を果たすこと」を最も重視する立場での議論を重ね、対応の方針を定めてきました。この姿勢はこれからも揺らぐことはないと考えております。

今後は新型コロナウイルス対応と通常診療をいかに両立していくかが最も大きな課題と捉えております。当院の持つ医療機能を地域の財産として維持しながらウィズコロナ時代を乗り切っていくためには、地域の先生方とのさらなる連携が重要であると考えております。今後ともよろしくお願ひします。

より良い医療を  
目指して



病院長 河原林 正敏



社会医療法人同仁会

耳原総合病院  
MIMIHARA GENERAL HOSPITAL

## 地域連携室



直通 0120-198-338

TEL 072-241-0324(直)

FAX 072-241-0208(直)

平日 8:30~20:00 土 8:30~13:00 日祝休

いくわ みみはら

# 第24回 地域連携をすすめる会の報告



日時：2020年9月19日（土） 場所：当院2F みみはらホール

この時勢下、人数制限を取らせて頂き、1時間あまりの講演会のみではありましたが、26 医療機関から 29 名の先生方にご参加をいただきました。お忙しい中ありがとうございました。



## ● 「周術期管理の強化と地域医療の展望」 病院長代行 河原林正敏



当院周術期センターは、耳原総合病院で手術を受けられる患者さんに対して、多職種と連携し、高水準医療を提供することを目的として2018年に運営を開始しました。臓器別センターという診療科を超えた連携の枠組みの中、4名の看護師体制やアジャストナースの配置。具体的な術前管理指導体制を取って多職種カンファレンス開催し、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、医療福祉士などが一丸となり、患者さんの不安解消、また効率的な入院管理に努めています。

コロナ禍での地域連携といたしましては、堺市医師会と共に保健所、地域医療機関と情報交換・共有、休日輪番制、迅速に患者の受け入れを行い、地域医療支援病院としての機能を果たす事を最優先に考えてきました。同時に、堺市二次医療圏で当院が担ってきた役割として、急性期医療機能を維持することも重要だと考えております。

## ● 「COVID-19 プライマリケアに役立つ知見」 救急総合診療科・感染制御室医師 河村裕美

COVID-19は発症直前が感染力のピークであるため、すべての患者が潜在的にCOVID-19である可能性を念頭に、CT正常だけでCOVID-19感染を否定、また感染対策を緩めることは大変危険です。抗原・PCRは一定の偽陰性と偽陽性が生じます。症状が出てから対策を講じるインフルエンザとは違い、COVID-19は発症から4日間どれだけの人がうつしてしまっているのかを把握することが重要です。症状が出る前の45%が潜伏期間中から起きています。そのため、問診（行動歴・接触歴）による事前確率や、発症からのタイミングなどを組み合わせて解釈することが求められます。インフルエンザ流行期の診療指針を前もって決めておくことが、今後の診療を行う上で必要であると考えています。



## ● 「COVID-19 取り組みの報告」 総合診療センター長 総合診療科部長 大矢亮

COVID-19診療体制、受診患者から見えてきた傾向を踏まえ、当院での取り組みの全体を紹介し、また、院内アートの取り組みと致しましては、青空の写真など様々な展示物を通じて、入院患者や職員の癒しの場を作り、COVID-19を知る漫画では患者教育の啓蒙を行いました。

## ● 退任の挨拶 病院長 奥村伸二

お忙しいところご参加いただきまして誠にありがとうございます。私、耳原総合病院 病院長として9年1ヶ月務めさせて頂きましたが、この度退任し河原林が病院長を引き継ぐこととなりました。2020年10月から、新体制に移行しますが今後もより一層ご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。

